

熊野町職員の人事行政

運営等の状況公表

熊野町職員の人事・給与などの状況を町民の皆さんにご理解いただくため、次のとおり公表します。

町職員・特別職・議員の給与などは、町議会の審議を経て、条例などで定められています。（紙面の都合で抜粋・グラフ化しています。詳しいデータは、類似市町などのデータを追加して3月中旬に町ホームページへ公開します）

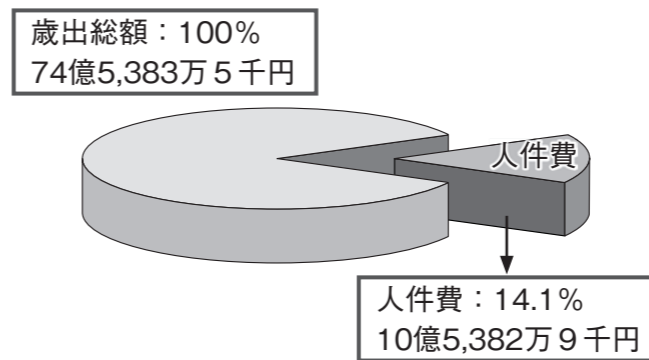
歳出総額に占める

人件費の状況
(平成21年度)

平成21年度における人件費の額は、10億5,382万9千円で、歳出総額に占める割合は14.1%となっています。人件費には、職員に支払われた給与、市町総合事務組合負担金（一般職）、

特別職（町長、町議会議員など）に支払われた給与、報酬などのほか共済組合負担金、市町総合事務組合負担金（特別職）や災害補償費などが含まれています。

町総務課 ☎ 820・5601



職員の給与の仕組み（平成22年4月1日現在）

毎月決まって支給	給料：職務の種類と勤務年数などに応じて決定・支給されます。
	扶養手当：配偶者13,000円、配偶者以外の扶養親族6,500円（ただし、配偶者のいない職員の扶養親族1人目は11,000円）、満16歳の年度当初から満22歳の年度末までの子は5,000円を加算して支給されます。
	住居手当：借家に住む職員には、家賃の額に応じて最高27,000円支給されます。
勤務実績に応じて支給	通勤手当：①交通機関（バスなど）の利用者は運賃相当額（限度額55,000円）②自動車などの利用者は距離に応じて支給（2～5km2,000円、5～10km4,100円以後5km刻みで支給（限度額24,500円））されます。
	管理職手当：部長、課長などに対して給料の7～15%が支給されます。
	時間外勤務手当：正規の勤務時間外に勤務したときに支給されます。
臨時に支給	特殊勤務手当：著しく危険、不快な業務などに従事した職員に支給されます。
	地域手当：派遣などで広島市内など、地域手当支給対象地域へ勤務する職員に対して支給されます。
	期末・勤勉手当：民間のボーナスに相当するものです。年間4.15ヵ月分（ただし、平成22年度は3.95ヵ月）支給されます。
	退職手当：勤続年数、退職理由に応じて、広島県市町総合事務組合から支給されます。（最高支給月数は59.28ヵ月）

部門別職員数の状況（平成22年4月1日現在）

職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員などを含み、臨時または非常勤職員を除いています。

	職員数（人）	職員数（人）		
		平成20年	平成21年	平成22年
一般行政部門	議会・総務・税務・民生・衛生・農林・商工・土木	109	109	109
特別行政部門	教 育	19	19	19
公営企業等 会計部門	水道・下水等	27	27	27
合 計		155	155	155

職員の初任給の状況（平成22年4月1日現在）

町の大学卒の初任給は、高校卒程度の採用試験を受けた大学卒業者が決定される額です。

区 分		町		国	
		初 任 給	採用2年経過日給料額	初 任 給	採用2年経過日給料額
一般行政職	大学卒	157,200円	175,600円	172,200円	185,800円
	高校卒	140,100円	149,800円	140,100円	149,800円

職員の平均年齢・平均給与月額等の状況（平成22年4月1日現在）

	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
町の行政職	324,871円	350,707円	44.0歳

※給与とは、給料に手当を含んだ額のことです



職員給与の状況（平成22年度）

平成22年度の一般会計当初予算に計上された給料、手当（退職手当は含みません）、期末・勤勉手当の額は次のとおりです。

職員数（A）	134人	
給与費	給 料	522,392千円
	職 員 手 当	82,852千円
	期末・勤勉手当	192,980千円
	計（B）	798,224千円
1人当たり給与費（B/A）	5,957千円	

職員の採用状況（平成22年度）

試験区分	職種	受験者数	最終合格者数	採用者数	前年度採用者数
新規採用職員試験	一般行政職	41	5	5	4
	技術職	2	0	0	0
	保健師	11	3	3	0



特別職・議員の給料などの状況（平成22年度支給見込み）

	給料・報酬月額	年間期末手当
町 長	821,000円	3,891,540円
副町長	686,000円	3,251,640円
教育長	635,000円	3,009,900円
議 長	328,000円	1,161,120円
副議長	271,000円	959,340円
議 員	260,000円	920,400円